

地域づくりと日置族

# 日置族の歴史



平成19年3月10日 (令和2年5月9日追記)

日置族ファン倶楽部 代表

(株)グリーンデザインオフィス

代表取締役 岩田真次

# 自己紹介

会社概要 登録 一級建築士事務所 山口県知事登録(D)第2321号  
本社 (西京事務所) 代表取締役 岩田真次  
〒755-0084 山口県宇部市大字川上420-9  
TEL:0836-32-8202 FAX:0836-32-8238  
[URL:http://www.green-d-office.com/](http://www.green-d-office.com/)  
E-mail:iwata218@mocha.ocn.ne.jp  
(東京事務所) 千葉県白子町(九十九里浜海岸)  
TEL: 090-1460-3091

従業員 7名、技術顧問1名  
内、一級建築士2名(構造設計1名)、博士(工学)2名  
CASBEE建築評価員1名、CAD利用技術者一級(建築)1名  
非破壊試験技能者3名



(株) グリーンデザインオフィス



耐震診断・改修設計  
RC造(屋根S造)体育館  
(宇部市 俵田翁記念体育館)



構造設計・応答解析  
S造(一部SRC・WRC造)高層ビル  
(岩国市 瀬祭本社)



耐震診断・補強設計  
木造大規模校舎  
(萩市 明倫学舎)

# 地域づくりのサポーター 日置族の歴史

## 目次

1. 日置族とは
2. 古代の日置族
3. 中世の日置族
4. 近世の日置族
5. 現代の日置族
6. 地域づくりを時空で考える

# 1. 日置族とは

…朝廷、幕府の高級官僚(朝廷の祭祀、古墳造営、防人、御家人)

古事記・日本書紀などの古代史から読み解くと

・日置族は高句麗からの渡来人で、出雲臣族です。

※日本人のDNAは日本人固有4%、朝鮮24%、中国25%、ほか。

・天照大神の子天穗日命の後裔で、大江・秋篠・菅原朝臣と同祖です。

※現天皇の弟君は秋篠宮、秋篠宮の宮号は(明仁)上皇から賜ったもので、奈良市の地名秋篠に由来する。古くから土師氏ゆかりの土地であった。  
、奥方は紀氏(海人族)の子孫か。

・京師・日置臣は菅原朝臣を賜り、土師宿禰と同祖です。

※古墳を造営した土師氏縁の土師神社に天皇家がお参りをされている。

・日置部の伴造である幣岐君は応神天皇の子大山守命の後裔です。応神天皇は皇子に「大山守命は山海の政をせよ」と命じています。

※このとき日置氏に防人を、秦氏に政治を担当させたのではなかろうか。

・901年藤原氏によって太宰府に流された日置族(土師氏)の菅原道真に縁のある山口県の防府天満宮を建立したのは同族の周防国司・土師信貞です。菅原道真の子孫・前田利家の墓碑には、「前田菅原朝臣利家」とあります。

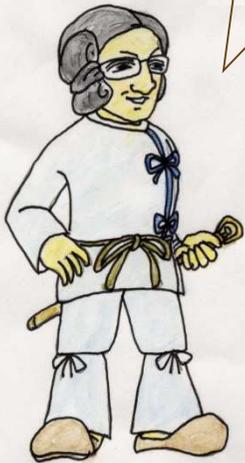
※前田利家は徳川家康をしのぐ天下人の才があったという。

・長州の毛利氏は山城国の日置族大江広元の四男李光の子孫であり、薩摩藩主の祖島津忠久は武蔵国の日置族比企禪尼の長女丹後局(ほかに比企禪尼の甥鎌倉御家人比企能員の娘説あり)の子です。

※明治維新を担った長州、薩摩は日置族であった。

…日置族は古代の技術集団で、朝廷、武家社会と深い繋がりががあります。常に歴史の転換期に関わり、薩長連合(島津・毛利)による明治維新に繋がります。

日本の歴史をつくったのは我が一族ぞ！



## 2. 古代の日置族①...ルーツは高句麗

- 日置族のルーツは大陸、高句麗族(日置町史)。

- 山口県下関市土井ヶ浜遺跡(弥生人墓地・鵜を抱く女)と鳥取県青谷町青谷遺跡(弥生人墓地・脳のある頭骨発掘)。



居住地はいずれも紀元前200年代(秦の時代)のもので、この頃大陸から上陸したものと考えられる。近くに日置族の居住地が存在する。



- 山陰側への渡来人の本拠地が出雲か。

※1 一、二、三(ヒーフミー)は高句麗語(司馬遼太郎)

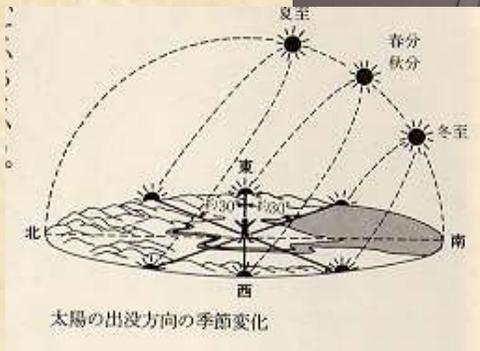
※2 大学の恩師(私の就職先を決定された鉄筋コンクリート工学博士)は加賀美一二三先生

## 2. 古代の日置族②...土井ヶ浜遺跡の謎

### 鶺鴒を抱く女



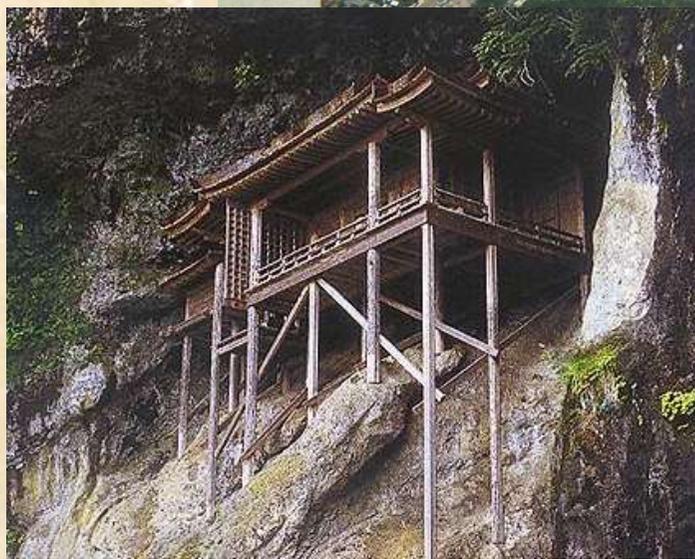
中原中也記念館長・福田百合子さん小説の題材



弥生人といわれる人骨はほぼ同一の方向に安置されている・・・顔を故郷の大陸に向けているといわれるが古代人の神聖なる方位である東南東(冬至の日の出)、東北東(夏至の日の出)方向に頭を向けて安置されていると考えては・・・。



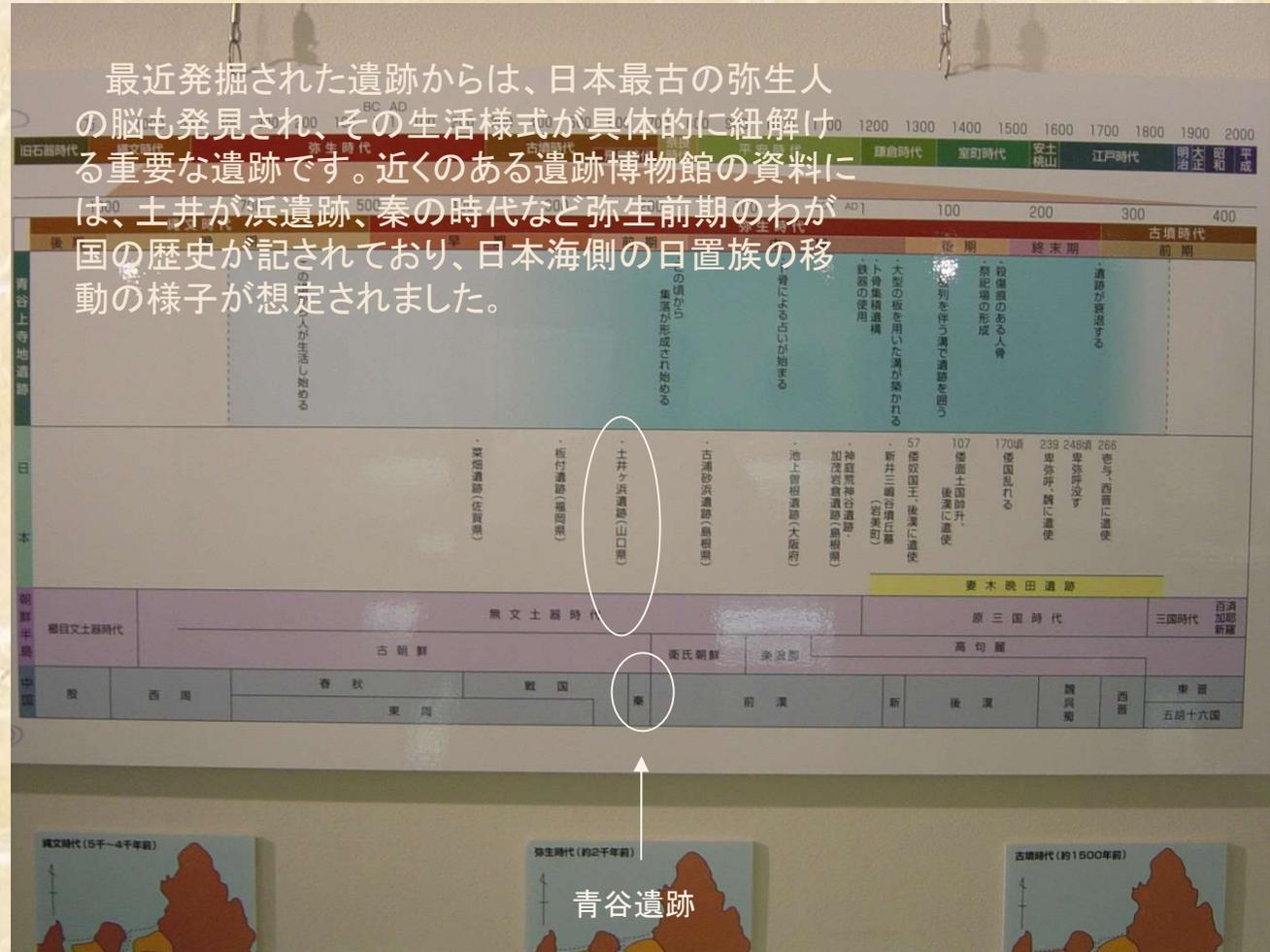
## 2. 古代の日置族③...青谷上寺地遺跡の謎



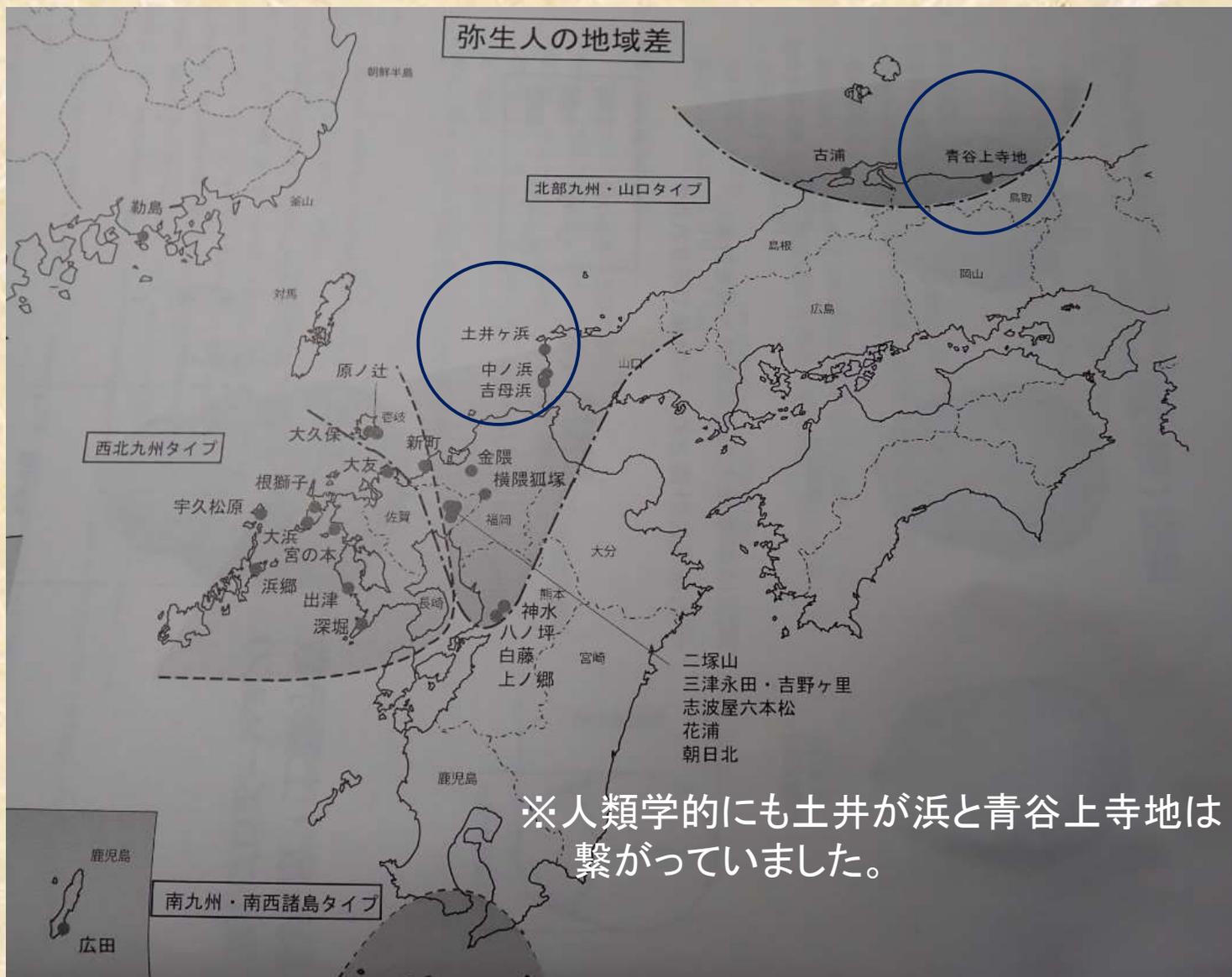
鳥取県青谷は因幡と伯耆の国境にあり、近くに三朝温泉・三徳山の投入堂がある。因幡の白兔の神話を思い浮かべると...

# 2. 古代の日置族④

…青谷上寺地遺跡と土井ヶ浜遺跡は同時期に成立



# 土井ヶ浜と青谷上寺地遺跡は同類の弥生人が居住



## 2. 古代の日置族⑤



福井県福井市足羽山



一族は昔より幾度にも分かれて渡来しているよ。特に3, 5, 7世紀は多かったな！

### …継体天皇(大国主命)の側近

むかし、ある人物が自分の民を連れて、朝鮮半島經由海を越えて日本列島にやってきました。そして上陸されたのは山陰地方・出雲の海岸でした。当時出雲は倭国という国に属し、仏教徒である彼らとは異なった宗教をもっていました。倭国を治める王は大王という王号と呼ばれ、大和(いまの奈良県)に都をおいていたのです。倭国の都である大和に遷都して政治を執ろうとする大国主は、倭国の正当な継承者ではなく征服者でした。「この征服者・大国主神は歴史上では継体天王である。」と考えました。日置氏は出雲で最大の高句麗氏族で継体天王に随ってこの地に入ってきたのです。

古代の列島において高句麗氏族は全国的に分布しました。各地に高麗神を祭った神社があります。埼玉県の高麗神社、神奈川県大磯の高来神社、富山県富山市高麗神社、大阪府狛神神社などの高麗名や・各地にある氏族名の日置神社・多珂神社は日本社会の中に溶け込むほど長い歴史があります。

(石川典朗: 仏教・出雲に伝来 大国主神=継体天王説)

※応神天皇の5世孫といわれる継体天皇は、歴史上に記録が残る最初の天皇。

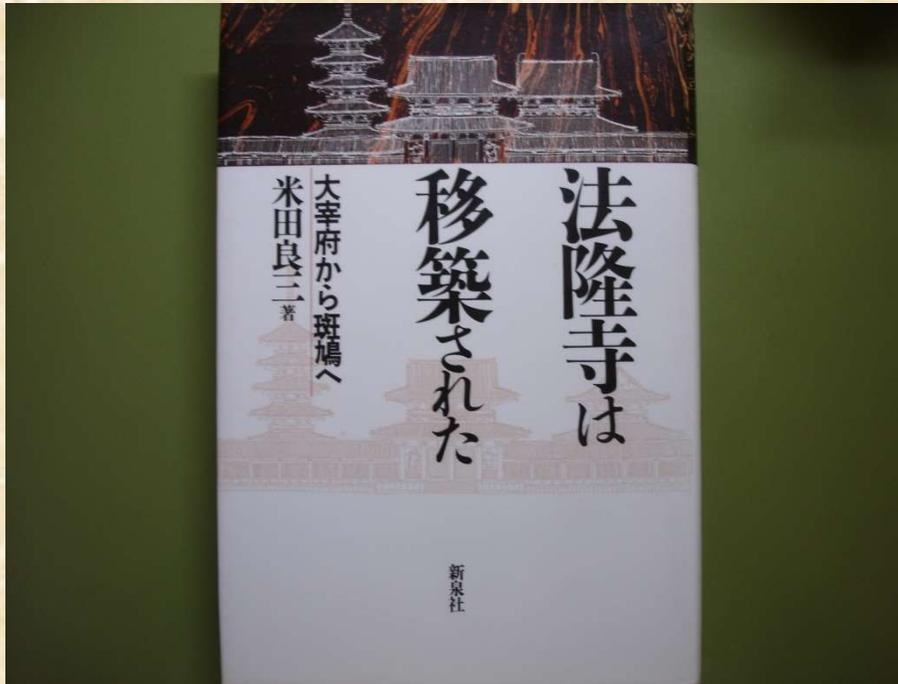
継体天皇の生誕地は、近くに日置前の地名のある滋賀県高島市で、母方の出身地・福井県坂井市丸岡町高椋(疋田の地名、隣町に永平寺)で成長した。

## 2. 古代の日置族⑥...法隆寺の歴史と政変

- |      |  |     |                           |
|------|--|-----|---------------------------|
| 239  | 卑弥呼朝貢開始(魏志倭人伝)                               | 663 | 白村江で日本・百濟軍は唐・新羅軍に大敗       |
| 240  | 法隆寺心柱桧誕生                                     | 664 | 長門、筑紫に築城                  |
|      | 国家成立(大和政権)                                   | 666 | 百濟人2千余人を関東に移す             |
| 391  | 倭国朝鮮出兵(高句麗・好太王碑)                             | 668 | 天智天皇即位                    |
| 404  | 倭軍高句麗に敗北                                     | 670 | 法隆寺焼失                     |
| 413  | 倭の五王の遣使                                      | 672 | 壬申の乱                      |
| —502 | 江田船山古墳                                       | 673 | 天武天皇即位                    |
| 507  | 繼体天皇即位                                       | 686 | 天武天皇没                     |
| 527  | 磐井の反乱  | 687 | 高句麗、新羅の渡来人を関東に移す(坂東武者の起源) |
| 538  | 百濟・聖明王 <small>(第3王子が大内氏の祖・琳聖太子)</small> 仏教伝来 | 694 | 藤原京に遷都                    |
| 562  | 加羅(任那)が新羅に滅ぼされる                              | 697 | 文武天皇即位                    |
| 587  | 蘇我馬子、聖徳太子らと物部守屋を滅ぼす                          | 708 | 法隆寺再建                     |
| 593  | 聖徳太子摂政                                       | 709 | 平城京遷都                     |
| 594  | 法隆寺五重塔心柱伐採 ←————→                            | 712 | 古事記撰上                     |
| 596  | 飛鳥寺創建  | 713 | 風土記編纂                     |
| 607  | 法隆寺創建  | 720 | 日本書紀撰上                    |
| 622  | 聖徳太子没  |     |                           |
| 645  | 中大兄皇子・中臣鎌足ら蘇我入鹿を殺す                           |     |                           |



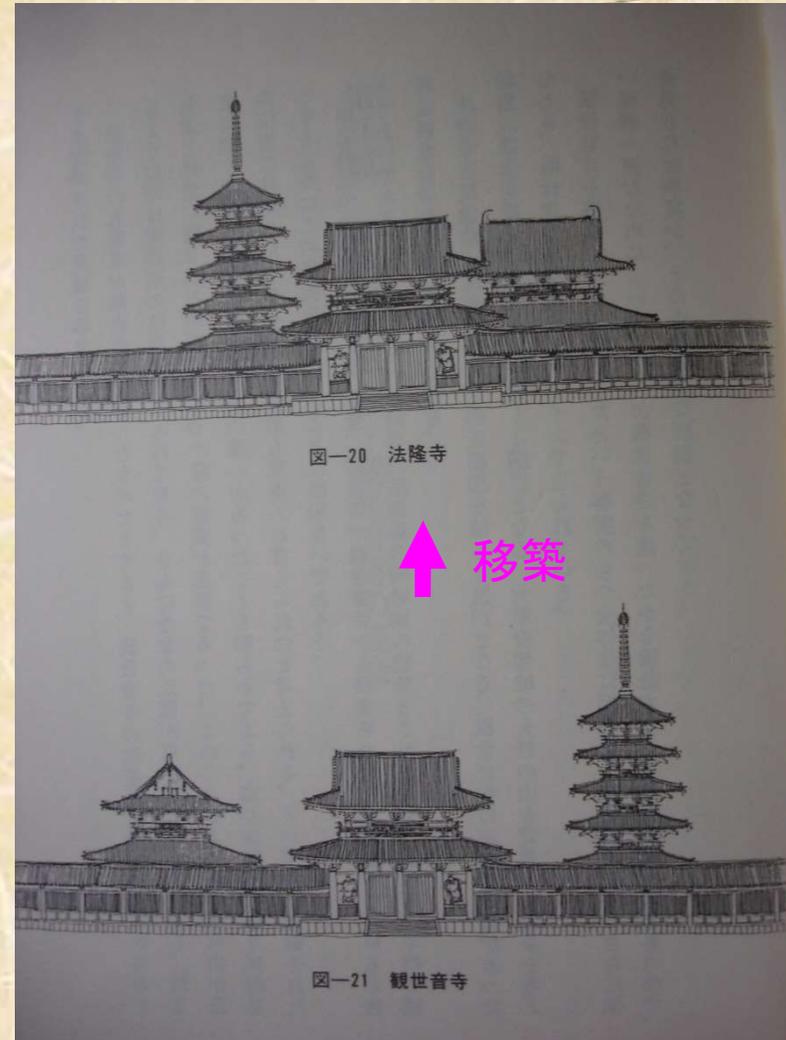
## 2. 古代の日置族⑦...法隆寺は移築された



建築家・米田良三氏:

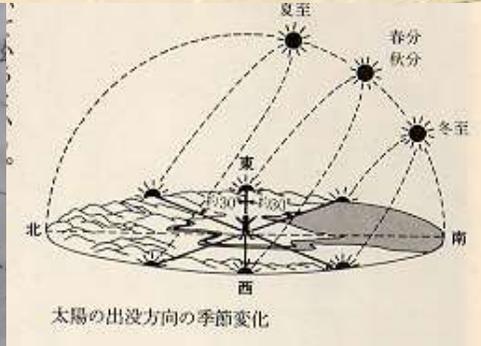
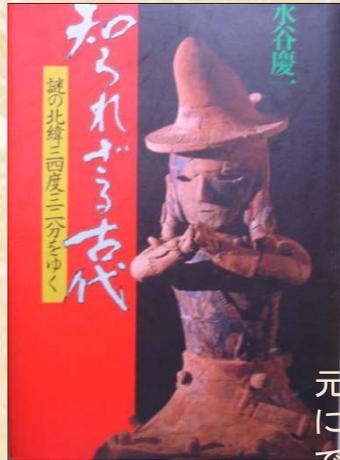
(東工大建築卒、恩師はNHK大河ドラマ建築考証の平井聖氏)

日本古代史は九州の倭国を中心に展開し、672年まで続いた。その中心は大宰府都城で、卑弥呼、壺与、武、磐井、上宮法皇らが都とした。その文化の頂点は観世音寺を建造した上宮法皇の時代で、日本列島はすでに統一されており、東アジアの中心的文化国家であった。聖徳太子は上宮法皇をモデルにつくられた架空の人物である。



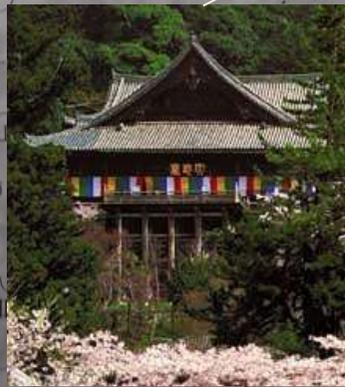
# 2. 古代の日置族⑧

…日置族は古代の測量士



元NHKプロデューサー **水谷慶一**氏は、大阪・大鳥神社から伊勢斎宮を結ぶ東西軸線上(太陽の道)に古墳、社寺などの遺跡が並んでおり、この精密な測量を行ったのが古代の技術集団日置族であるという。

大鳥神社 日置荘 箸墓 長谷寺 室生寺 伊勢斎宮



# 水谷慶一氏をアポなしで訪問...暖かく迎えて頂きました

木造の邸宅兼研究所は、松井郁夫氏の設計



2014.5. 22 岐阜県郡上市白鳥町 越美文化研究所

## 2. 古代の日置族(付1)

1970年代以降の歴史学会では、**古事記**や**日本書紀**の5世紀以前の記事は不正確な伝説であり、**継体天皇**は実在しているが、その前の王については不確かとの見解が有力である。

**武烈天皇**、**顕宗天皇**、**清寧天皇**なども実在ではなく創作されたものと考えられる。ただ考古学的資料により、ある程度のことは分かっている。

大和王朝(**ヤマト王権**)の発祥の地は、**吉備**か**出雲**か九州など諸説あり不明である。だがこの王権は、**三輪山**近くの**ヤマト**(あるいは**柳本**)に、古代都市**纏向遺跡**(まきむくいせき、奈良盆地の東南部(桜井付近)を造り本拠をおいた王のときに大きく発展した。この古代都市は、3世紀前半に建設され、4世紀末には使われなくなった。(卑弥呼~壹与~崇神天皇~応神天皇)

420年頃から480年頃までが、**倭の五王**の時代である。その後、510年頃までに6,7人の在位期間の短い王が立ったが、この時期はヤマト王権は混乱した。(仁徳天皇~雄略天皇~清寧・顕宗・仁賢・武烈天皇)

**継体天皇**の時代に、ヤマト王権の力が強くなった。これ以降の系譜はほぼ正確である。

最近の歴史学会の見解です



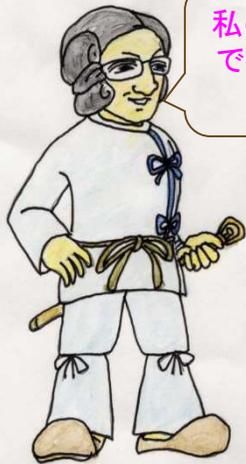
## 2. 古代の日置族(付2)

日置族は、古く大陸から出雲を中心に渡来した父系の技術集団(弥生人)である。

先住の母系海人族(太陽信仰—アマテラス)の鴨族、三輪族などと融合して、山と海のネットワークを構築して西日本各地に居住していた。この集団の頂点煮立つのが出雲族・土師族(農耕神—スサノオ)で、出雲を中心に西日本各地の平地に居住。北九州には、卑弥呼を頂点とした海人族系の母系集団が既に居住しており、これとも友好的に連携し、やはり先住の海人族である吉備族、尾張族とも友好的であった。

4世紀前半、朝鮮半島から高句麗・百済経由で崇神天皇が渡来し、強力な豪族の居た北九州、出雲、吉備地方を避けて、瀬戸内経由で大和の三輪に入り、出雲族を追放して大和国を立ち上げ、三輪山を中心に強大な三輪王朝を築く。このとき、先住の渡来氏族で、出雲族の配下にあった物部、蘇我、平群、鴨族などが従属した。

4世紀後半、応神天皇が任那から北九州に入り、邪馬台国(隼人族)を平定して宇佐にこれを吊い、瀬戸内経由して大和(河内)に入る。このとき、配下の秦氏が九州、山口そして関西に進入する。このことで、出雲族の優秀な技術集団日置氏は防人として西日本各地の山間部、関東では半島の灯台守などの辺境地に移住することになる。その後、高句麗に敗れた大和朝廷の力は弱まり混乱期を迎えるが、継体天皇の擁立により再び安定する。



私の仮説  
ですよ!

古事記、日本書紀には、神話としてこれらの史実が巧妙に記述されている。

天地創成から海人族で太陽信仰のアマテラスの石屋戸こもり(高天原神話)、渡来の農耕神スサノオと出雲王国の創成(出雲神話)、そして大国主神の国譲り神話がそれである。そして、アマテラスの子天忍穗耳命とその子ニギ命の天降り(筑紫神話)から、山幸彦・海幸彦(隼人族の平定)そして神武天皇東征が始まる。

天皇の始祖がアマテラスであり、万世一系を貫くために、アマテラス、スサノオは姉弟であり、出雲族の盟主大国主神はスサノオの子孫としている。崇神天皇の政を救済したのが出雲系の鴨(賀茂)族・三輪族の祖であり大国主神の子孫である意富多多泥古で、ここに地方豪族と融合した三輪王国の巧みさが仕組まれている。筑紫神話は、その後の応神天皇による九州、西日本の平定が隼人族の宇佐における滅亡を投影したものでありであり、東国平定がヤマトタケルの東国平定物語である。このようにして尾張、吉備族との融合が果たされ、4世紀末に大和朝廷が成立する。

# 3. 中世の日置族①

…頼朝と比企一族



鎌倉絵地図

日置族である比企一族は源頼朝を幼少よりサポートしていたが、北条氏によってその関係は断たれ、滅亡する。



鶴岡八幡宮



源頼朝の墓

# 3. 中世の日置族② ……御家人・大江広元



- 出雲族の日置氏は**土師氏**である**大江、秋篠、菅原**朝臣と同族です。
- 鎌倉幕府御家人・**大江広元**は山城国の日置族で、**四男李光**は**毛利氏の祖**である。
- 薩摩藩主の祖・**島津忠久**は武蔵国の日置族・**比企禅尼**(源頼朝の乳母)の**長女丹後局の子**である。
- 鎌倉市にある頼朝墓所裏山には大江広元の墓を中心に毛利李光、島津忠久の墓が左右に並んでいる。

日置族が支援して開いた幕府を、日置族の手で閉じることになるぞ！



# 3. 中世の日置族②(付)

日置族縁の氏族の社寺には  
何故か亀に乗せた墓碑がある。



鎌倉・大江広元の墓碑



宮津・薦神社(尾張氏)



萩・毛利氏墓地



宇部・南方八幡宮(大内氏)



宇部・東隆寺(厚東氏菩提寺)

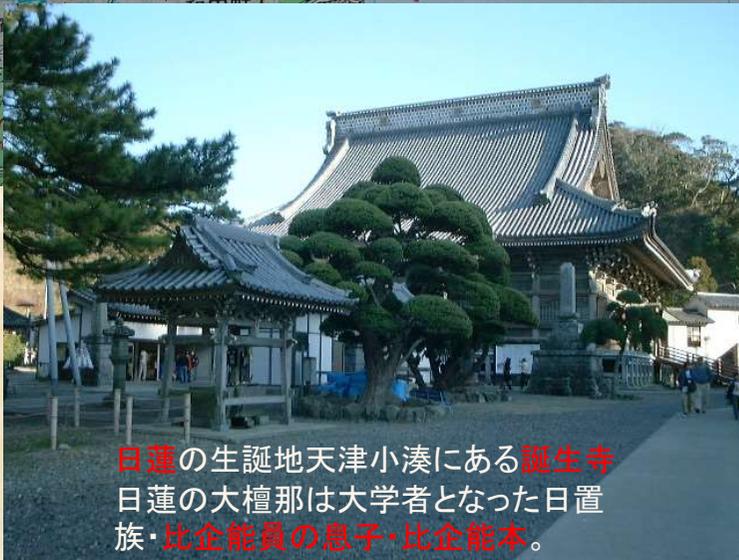
# 3. 中世の日置族③ ……比企一族のその後



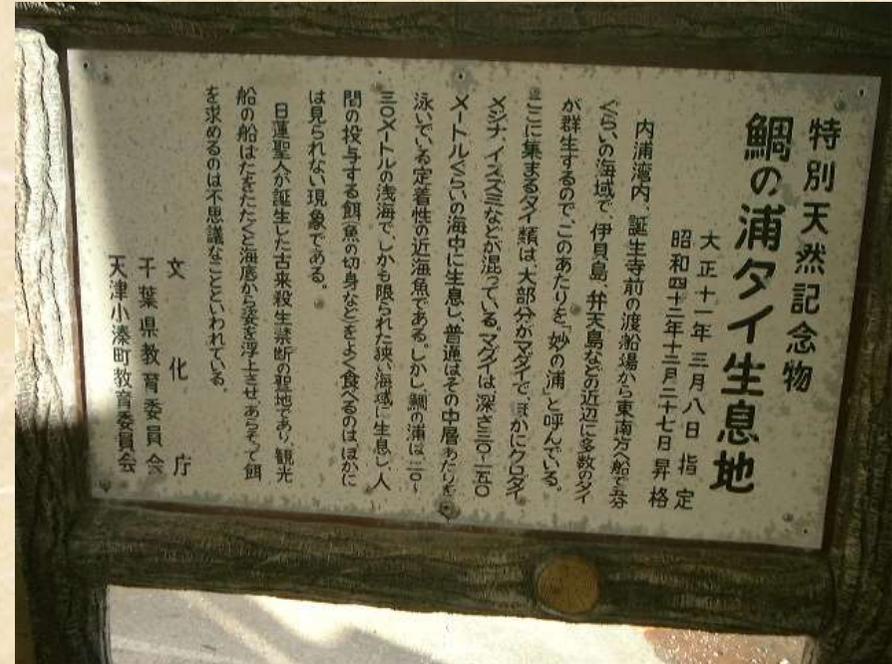
比企一族の菩提寺・妙本寺

永平寺と大檀那・波多野出雲守義重

# 3. 中世の日置族④ 日蓮の故郷は環境共生の地



日蓮の生誕地天津小湊にある誕生寺  
日蓮の大檀那は大学者となった日置族・比企能員の息子・比企能本。



天津小湊の漁港では、天然の鯛の餌付けが行われており、これが観光名所にもなっています。

勿論、海流の影響もあると思いますが、私はこの海岸に流れ込む川とその上流にある房総丘陵の森林に秘密があるのではないかと考えました。そこで、河口から上流まで遡ってみました。

上流には県民の森があり、樹木がうっそうとしげり、大切に守られていました。中流の棚田などの田園風景は、日置の郷と同様の素晴らしい景観でした。

# 3. 中世の日置族⑤

## 源氏の末裔が地域文化を創った



萩・指月城

津和野・門前町

能登・総持寺

※時宗の母を毛利季光の娘とする説もあるが、北条重時の13回忌に書かれた極楽寺多宝塔供養願文に重時の娘が時宗を生み育てたとあり、他にも時宗の母を重時の娘とする確かな史料が複数見られる。重時の母は比企朝宗の娘であることから、いずれにしても時宗には日置族の血が流れていることになる。

● 源頼朝、義経と異母兄弟である範頼は、頼朝の義経追捕を固辞し、伊豆修善寺に流罪となり暗殺される。

● 範頼の妻は日置族・比企禅尼の孫娘であり、その遺児はかつての頼朝同様に比企禅尼一族に守られ、武蔵国で吉見氏を名乗ったが、北条氏の隆盛により能登、石見など全国に散った。

石見吉見氏は、大内氏の中興の祖・大内義興（大内義隆の父君）の娘婿となる。（日置族一大内氏）

● 金沢、津和野、萩など全国に地域文化を創生した吉見一族の中に、毛利元就の三男で戦国末期の武将・小早川隆景を養子に迎えた小早川氏がいる。

● ところで、後に元寇を押えた北条時宗の母は、毛利季光の四女である。

父の時頼は13歳で毛利季光の娘を正室とした。

### 3. 中世の日置族⑥



長門市・日置八幡宮



青谷城主・日置氏の墓

#### 鎌倉の政変が長門に及んだ！

山口県日置町にある日置八幡宮の宮司・**日置筑後守**は、**源実朝**暗殺の嫌疑によりお家断絶となった。

守護佐々木氏以前の有力領主であった日置氏が鎌倉幕府御家人であったか否か明らかでないが、幕府内部の抗争に加担したとすれば、日置屈指の有力者として御家人化していた可能性があり、守護佐々木氏の影響下にあったとみることができる。のち守護佐々木広綱が実朝暗殺の二年後、承久の乱に朝廷方に属して戦い没落したが、これも北条氏をめぐる対立抗争と無縁ではない。

(日置町史)

※佐々木**広綱**の妻は大江**広元**の娘といわれている。

この頃、鳥取県青谷町の**日置城主・日置氏**もお家断絶となったのではないか。

(青谷町住民聴取り＋推測)

# 3. 中世の日置族⑥付

鳥取県青谷町



# 3. 中世の日置族⑦ 長門の地域づくりは大内(鷲頭)氏が設計



鷲の石像(日置盆地の中央)



日置八幡宮



長門妙見社  
北極星・北斗七星信仰  
大寧寺・深川廃寺の北位置



長門深川廃寺  
飛鳥時代の白鳳寺院跡



大寧寺(長門市湯本温泉)

鷲頭弘忠墓地(大寧寺境内)



深川城



日置町盆地の中心に水の神である貴布祢神社の御旅所があり、鷲の石像が建っています。この石像の頭の方角は東南東30度、つまり冬至の日の出方向で、この方向に日置八幡宮があり、さらにこの軸線の延長上の長門市には長門深川廃寺と深川城があります。室町時代の長門守護代鷲頭弘忠は、この地域の居城、神社仏閣の建立地を定めるために、この東南東30度の軸線を基準にしたのではないかと推察されます。

仏教を日本に齎した百濟・聖明王の第3皇子・琳聖太子の後裔と称する多々良氏(後の西国一の大大名大内氏)である大内盛房の三男盛保が鷲頭氏を称した。

南朝方の大内氏と北朝方の鷲頭氏の争いの後、長門市一帯のまちづくりを行った鷲頭弘忠は宗家の大内教弘に1448年深川城で滅ぼされる。

## 4. 近世の日置族 **前田利家**は菅原道真の子孫



- 日置族・**蒲生氏郷**が、秀吉没後に天下人となるのは家康ではなく利家であると言いつつ前田利家の墓碑には、「菅原朝臣利家」と刻まれている。**菅原道真**が大宰府で二人の子をもうけた。その兄が前田氏といわれ、その後尾張に移り住んだという。尾張国愛知郡荒子城主・前田利昌の四男が利家である。
- 鎌倉幕府における大江広元、織田・豊臣・徳川幕府における前田利家の存在は、それぞれ朝廷と武士団の仲介役として歴史の展開に重要な役割を果たしている。
- 石川県史を著した日置(へき)謙氏は、前田氏の歴史にも詳しい。
- 白土三平「カムイ伝」に日置領7万石(1624～1643年)が登場。

NHK大河ドラマ「利家とまつ」のラストシーンにこの墓碑が登場(慌てて写真撮影)

# 5. 現代の 日置族①

日置族の郷は全国に30箇所以上



日置郷の訪問は、  
まだまだ道半ばで  
すが、得られた情  
報を紹介します。



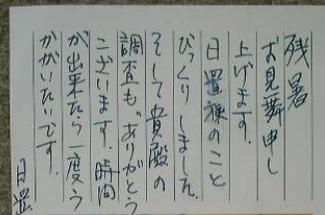
# 5. 現代の日置族①(付) 丸に十の字は何を意味するか！

## 大寧寺



大寧寺本堂に掲げられた絵図

大内義隆終焉の曹洞宗防長三古刹（大寧寺、瑠璃光寺、竜文寺…この3か寺は周防長門に跨って二等辺三角形に配置されている）義隆とともに自害した重臣・冷泉重隆は割腹して腸を本堂の天井に投げつけたという。境内には義隆父子のほか、大内氏を頼った関東管領・上杉憲実の墓もある。



南条踊…毛利・吉川藩から伝授



築三百年以上の武家屋敷、現在は一日数組限定の懐石料理屋



## へき亭

当日置家の古文書に綴られている明智光秀が食べたであろうと言われている料理を再現。「麒麟がくる」(2020年NHK大河ドラマ)の明智光秀役の長谷川博己はコルビジェ、村野藤吾の研究の建築史家・長谷川堯の長男



丸に十文字…島津藩の宿泊所、皇女和宮所縁の品々を拝見させていただきました。

# 5. 現代の 日置族②

## 地域固有の景観形成



鎌倉・段葛



滋賀・鎮守



天津小湊・入り江



湊・漁港



引野・堤防



佐原市・水郷



引谷・田圃



宮津・海岸

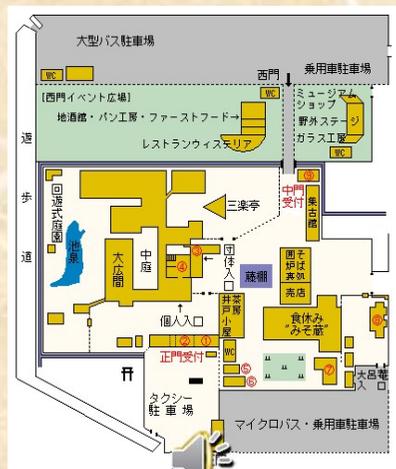
# 5. 現代の日置族③

## 地域文化を支える大檀那

喜多郎が伊藤家に一宿一飯の世話になった縁で地域住民のための演奏会を敷地内の音楽ホールで定期的で開催。NPO活動の縁で演奏会打上げ懇親会に飛入り参加する機会を得た。  
(白シャツの胸に喜多郎直筆のサイン)



伊藤邸は、敷地8,800坪(29,000㎡)、建坪1,200坪(3,960㎡)  
母屋の部屋数65を数える純日本式住居



新潟の大豪農・北方文化博物館  
館長第8代伊藤文吉氏



長さ15間半(28.18m)の通しの杉の丸桁は  
遠く会津のあたりからいかだで運ばれてきたもの



音楽家・喜多郎  
NHKシリーズ番組「シルクロード」の  
テーマ音楽担当の世界的な演奏・作曲家

# 5. 現代の日置族④

## 地域文化を支える企業家

当社が愛用している高性能の自記記録温湿度計測器メーカー



長野・上田市 日置電機会長・日置勇二氏 2005. 6本社訪問



日置電機本社を囲む森...宮脇昭氏の設計



大事なのは、いかに本物の師や仲間とつながっていくか、ということ

Innovator File No.27

植物生態学者

宮脇昭氏

Miyawaki Akira

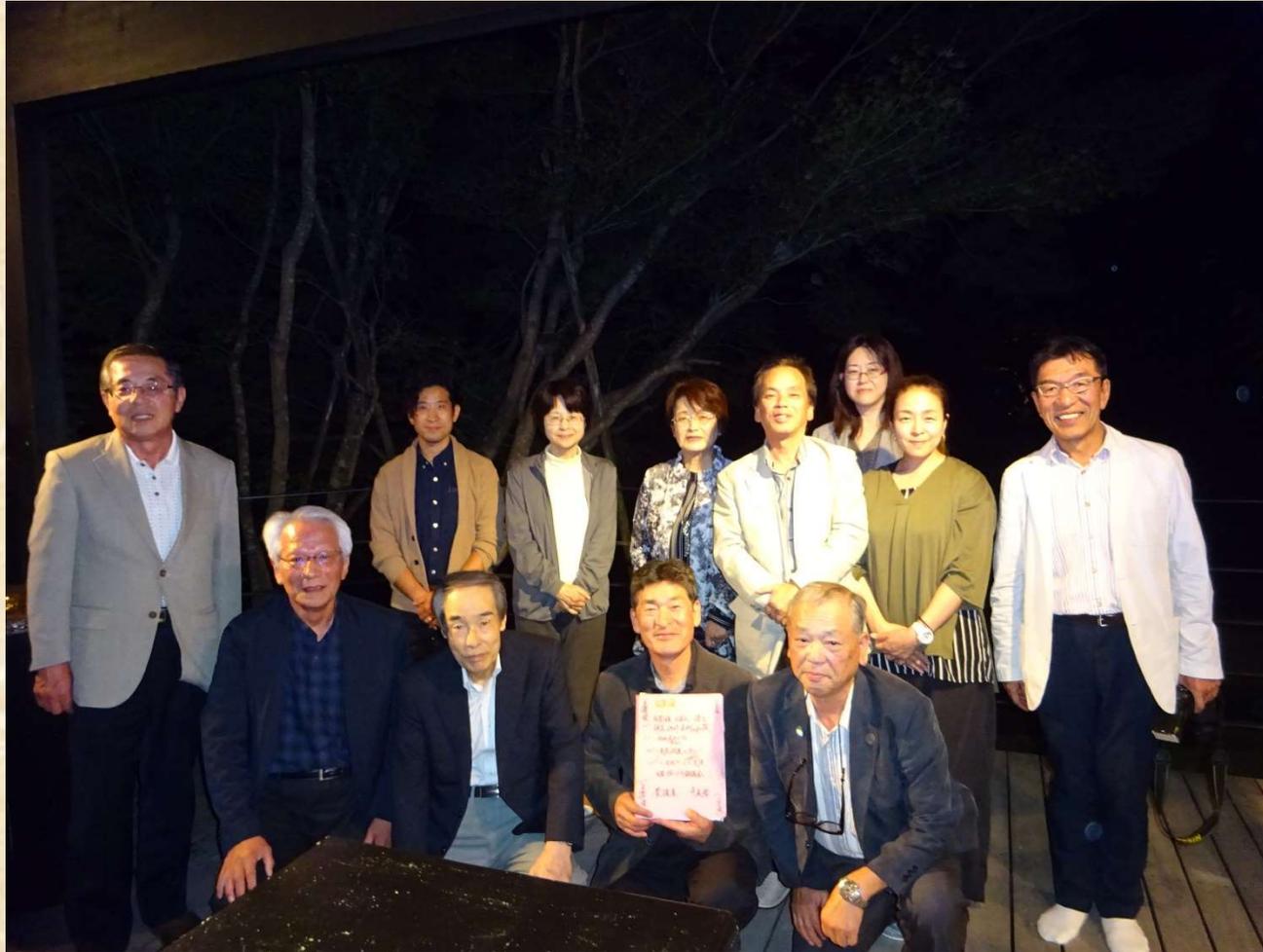
インタビュー：株式会社日本LCA 知識開発室 高田晋治、高橋規

企業や官公庁、地方自治体の緑化運動と連携し、国内1200ヵ所以上、海外も含めて1500ヵ所以上で植林活動を行い、約3000万本の木を植えてきたのが、植物生態学者の宮脇昭氏



上田を守る真田城

# 日置勇二御夫妻 山口県長門市日置来訪(13年後)



2018.10.13 日置勇二御夫妻と地元・日置まちづくり協議会の皆さんと懇談

# 日置 航(日大三高・主将・遊撃手)は日置族の子孫

「第12回BFA U-18アジア選手権」日本代表メンバーに選抜された・・・日置航は日置勇二氏の甥子  
現在、明治大学1年生



## 日大三のキーマンは主将・日置

夏の甲子園に5年ぶり出場となった日大三(西東京)の小倉全由監督がキーマンとしてあげるのが日置航主将だ。

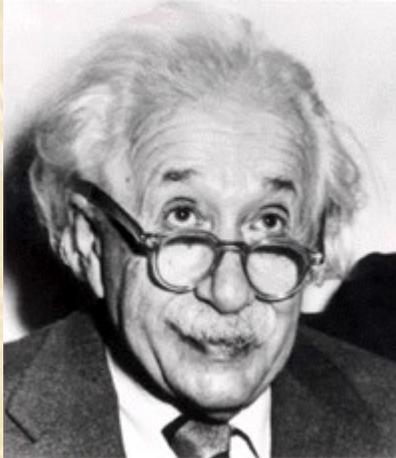
「東京大会でもいいところで打っている。日置がある程度打たせてもらえるようなら、固め打ちもできるのかなと思います」とコメント。

## 日置航は長野県上田市出身

地元の長野県上田市に本社がある、東証1部上場で創業80年を超える日置電機は、親族が創立した企業。祖父は社長も務めた。小中学生時代、所属していた上田南リトル・シニアでは、ナイター照明設備を完備した同社のグラウンドや、2つの室内練習場などを使用し、恵まれた環境で腕を磨いた。

# 6. 地域づくりを時空で考える①

場所(地域)は、歴史(時間)と風土(空間)で定義される。



Albert Einstein

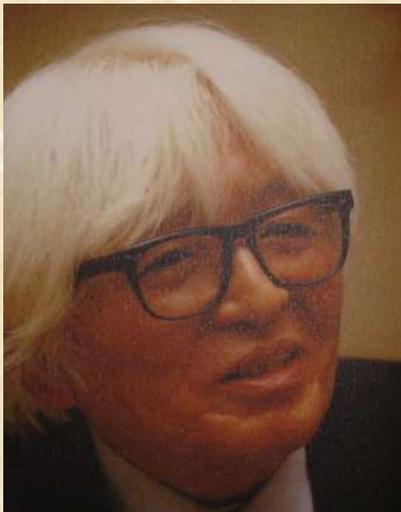
一般相対性理論においては理論的な帰結・骨子であり、次のように表される:

$$R_{ik} - \frac{g_{ik}R}{2} + \Lambda g_{ik} = 8\pi \frac{G}{c^4} T_{ik}$$

左辺は、時空がどういう風に曲がっているかを表す幾何学量であり、右辺は、物質場を表す。

空間と運動からなる四次元空間は、たとえば球面の上のような曲がった空間で、その曲がり方が重力を表している。

$E = mc^2$  …… エネルギー方程式(自然の力を表す式、世界で最も美しい方程式)



司馬遼太郎



## 司馬遼太郎の視点…… 辺境史観

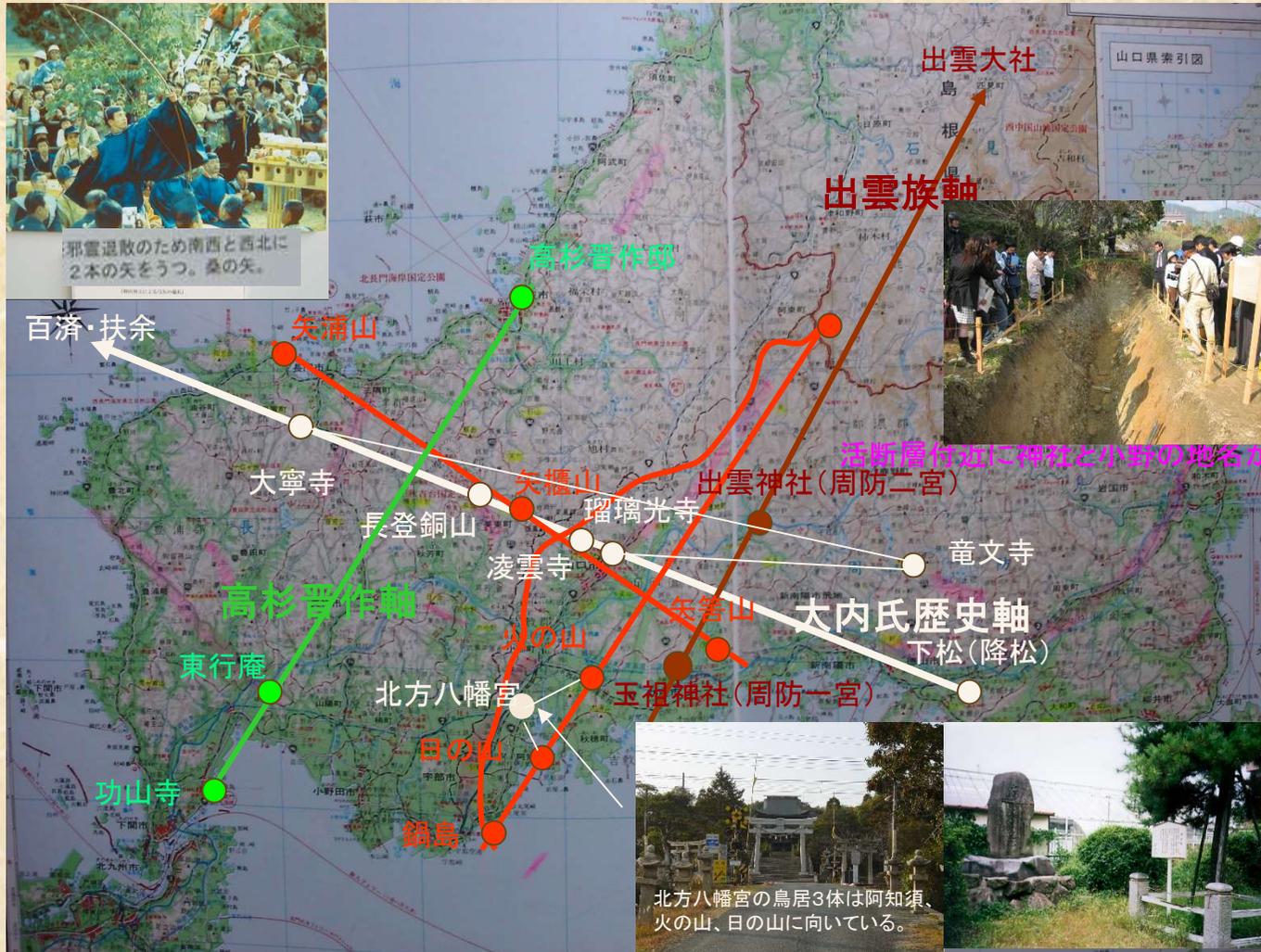
地方の文化が育った江戸期、大正期を考えて;

地方の大学、短大はもっと力を持つべきだしそれを育てるために地方の県人がもっと意識を高めるべきだ。そうでないと日本という国は薄っぺらい国になります。非常に多様な文化の価値観と文化とがあって社会というのはきらびやかなものになり、あるいはそこから生み出される文化もきらびやかなものになっていく…。

# 6. 地域づくりを時空で考える②

## 時空で考える山口県の地図

山口県の歴史と風土を歴史地理学的に紐解くと「時空の繋がりが」=「地域の有り様」が見えてきます。



邪軍退散のため南西と西北に2本の矢をうつ。桑の矢。



志那野付付近に神社と小野の地名が多い。



北方八幡宮の鳥居3体は阿知須、火の山、日の山に向いている。



# 長門市日置のまちづくりを時空で考える



## 6. 地域づくりを時空で考える③

人と自然に共有する限界指数は**30度**

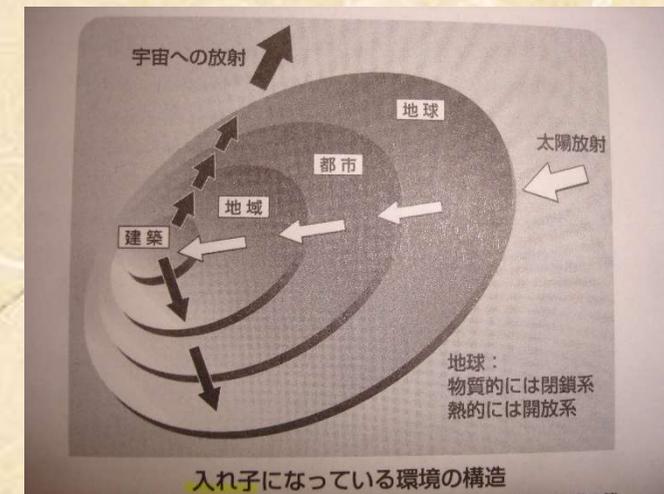
- ①野球の打率…天才バッター・イチロウでも打率は**3割**台
- ②政党支持率…自民党の平均支持率は**3割**程度
- ③自然のり面…擁壁のいない崖の勾配は**30度**以下
- ④土の安息角…土の内部摩擦角は約**30度**
- ⑤木材の含水率…含水率が**30%**を超えると強度低下、腐食はじまる
- ⑥木造民家の固有周期…固有周期が**0.30sec**、振幅H/vが**30**を超えると耐震性が不安
- ⑦街並みのD/H…建物の高さHと前面道路幅Dの比H/Dが**0.3**以下は駄々広く感じる
- ⑧人の視野…一度に見える視野の角度は**30度**
- ⑨陸地の割合…地球の陸地は**30%**(海は70%)
- ⑩世界の四大文明…北緯**30度**台
- ⑪目の錯覚角度…**30度**
- ⑫冬の南面の日射量限界角度…**30度**
- ⑬体温…**30度**台
- ⑭体の固体部分…**30%**
- ⑮戸建住宅のプレハブ住宅化率…**30%**



## 6. 地域づくりを時空で考える④

環境は入れ子・・・ $10^n$ (フラクタル)

- ①河川の支流(水)
- ②木の枝(木)
- ③土砂の粒子数の分布(土)
- ④貨幣の単位(金)
- ⑤自宅、近隣、部落・団地、区、町、地域、市、県、の人口と面積



建築家・小玉祐一郎

## 6. 地域づくりを時空で考える まとめ

地域づくりを考える視点(ものさし)・・・日置族から学んだルール

1. 日置族は現代まで通用する地域固有の文化を残した。
2. 公と私、自然と人との接点に重要なシンボルを構築した。
3. 山と海の連携、生態系を考慮した地域づくりを行った。

- 地域づくりの3原則(景観形成の3原則)

- (1) 地域固有の景観・・・無くてはならないもの、アイデンティティ
- (2) 中間領域の共有・・・公と私を繋ぐもの、シンボル
- (3) 自然との共生・・・多様性、生態系、循環型

- 地域づくりのバランス感覚

7、5、3・・・固有なものは3割にとどめ、  
公と私、都市と地方の折合いは5割(五分五分)で、  
自然(森林など)のエリアは7割をキープ

- 地域づくりを考えるスケール(自然のものさし)

10<sup>n</sup>・・・小さいものはより多く、大きいものはより少なく  
30度・・・自然との接し方の限界